**ITC80年の歩み**



****

**◇🕮　ITCの歴史　🕮◇**

ITCのミッション声明は「インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションの使命は、コミュニケーションと指導力の質の高い訓練を通して、自己啓発のための国際的機会を提供すること」とし、「政治、社会、経済、人種又は宗教であれ、あらゆる課題について偏見のない自由で開かれた討議をはぐくむこと」を信条として、「今日のコミュニケーターを訓練しリーダーを養成することによって、明日のより良い世界を築くこと」をビジョン声明としています。コミュニケーション技術を通じ、社会に貢献する教育組織として成長しています。

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | 沿　　　　革 |
| 1938  昭和13年 | 6月25日Ladies Forum, Women’s Public Speaking Club, Toastiesの名称などで其々に活動していたクラブが “Toastmistress”として合併し一つになった。  9月“International Toastmistress Clubs”（ITC）の名称で、法人団体設立の契約書を米国カリフォルニア州に提出し法人として設立登録された。  12月16日“International Toastmistress Clubs”の創設者アーネスティンF. ホワイト女史(Ernestine Frances White)が初代代表となった。  「自分の考えを明確、簡潔に表現し伝達する能力を訓練するには、  １人で孤立していたのでは不可能です。個人の成長はグループに  貢献してこそ効果的であり豊かなものになります。熱心で素直で  思いやりがあり思慮深い女性達が集まり自由に交われば学び合う  Ernestine F. White  ことができるのです。」と挨拶した。10月を「創設者の月」とした。12月トーストミストレスマガジン創刊号“TOASTMISTRESS”が発行された。 |
| 1939  昭和14年 | 第1回ITC大会が米国カリフォルニア州サンノゼで開催された。John N. Garner米国副大統領からギャベルが贈呈された。米国西部地区で20クラブが設立登録された。 |
| 1940  昭和15年 | 第2回ITC大会が米国カリフォルニア州サンタバーバラで開催され、ITCのモットー「私達は言葉を愛し、優雅且つ流暢にそれを用いること」が採択された。  International Toastmistress ピンが造られた。  International ToastmistressピンとCHARTER MEMBERチェーン |
| 1941  昭和16年 | 第3回ITC大会が米国カリフォルニア州ロサンゼルスで開催された。第二次世界大戦のためチャーターナンバー１のサンフランシスコを含む数クラブが活動を休止した。 |
| 1942  昭和17年 | 第4回ITC大会が米国カリフォルニア州デルモンテで開催された。  スピーチコンテストが開始された。スピーカーは一時間前に論題が与えられスピーチの時間は5分から7分であった。1952年、即席スピーチとなり演台に立った時に論題が与えられた。1965年、一週間前に論題が与えられたが、ITC大会では24時間前に論題が与えられた。1989年、現在の準備されたスピーチとなった。 |
| 1943  昭和18年 | ITC創設者のアーネスティン ホワイト女史が1月22日38歳で夭逝した。　彼女は  「思いやり、才能、愛、ユーモア、熱愛、献身、そして偉大なビジョンをもった女性」であった。　1943年－1945年、戦争のためITC大会の開催はなかった。 |
| 1946  昭和21年 | 第5回ITC大会が米国カリフォルニア州ロングビーチで開催された。  米国外で初めてカナダでクラブが設立された。 |
| 1947  昭和22年 | 第6回ITC大会が米国イリノイ州シカゴで開催された。  カウンスルが組織される以前にリージョンが組織されていたが、カウンスルが設立されITCの組織はクラブ、カウンスル、リージョン、国際の4レベルとなった。 |
| 1948  昭和23年 | 第7回ITC大会が米国ワシントンで開催された。スコットランドで最初のエディンバラクラブが設立された。発展を続け6リージョンが設立された。 |
| 1949  昭和24年 | 第8回ITC大会が米国ミネソタ州セントポールで開催された。  日本で初めて外国人のみの名古屋クラブ（認証番号273）が設立された。 |
| 1950  昭和25年 | 第9回ITC大会が米国カリフォルニア州パサデナで開催された。  評価者の英語表現が“Critic”から“Evaluator”に変更された。 |
| 1951  昭和26年 | 第10回ITC大会が米国コロラド州デンバーで開催された。日本の文部省から日本人が国際団体に加入できる許可が下り、日本人22名が名古屋クラブに入会した。 |
| 1953  昭和28年 | 第12回ITC大会が米国オレゴン州ポートランドで開催された。  ITCは6リージョンであったが、8リージョンが所属する組織となり発展を続けた。 |
| 1957  昭和32年 | 第16回ITC大会が米国テキサス州ダラスで開催された。  タイ、カサブランカ、モロッコ、プエルトリコ、フィリピンにクラブが設立された。 |
| 1960  昭和35年 | 第19回ITC大会が米国カリフォルニア州ロサンゼルスで開催された。  ITC宣誓が採択された。 |
| 1963  昭和38年 | 第22回ITC大会が米国カリフォルニア州サンフランシスコで開催された。  世界大会に出席しないクラブのために不在投票の制度が正式に承認された。  ITCの組織研究のため「機構委員会」が設置された。 |
| 1964  昭和39年 | 第23回ITC大会が米国コロラド州デンバーで開催された。  クラブ会員数30名を目標とする“Operation Game” が導入され60クラブが達成した。 |
| 1968 | 第27回ITC大会が米国外で初めてカナダのアルバータ州カルガリーで開催された。 |
| 1969  昭和44年 | 第28回ITC大会が米国オハイオ州クリーブランドで開催された。  米国外で初めてオーストラリアでリージョンが設立された。 |
| 1970  昭和45年 | 第29回ITC大会が米国オレゴン州ポートランドで開催された。  イギリス、ニュージーランド、南アフリカでリージョンが設立された。  リチャード・ニクソン米国大統領のパトリシア・ニクソン夫人にITC初の名誉会員の  称号がジーン・ウェーバーITC会長から贈呈された。  アポロ13号の宇宙飛行士が3枚のトーストミストレスの印章を月旅行に持参した。  宇宙船のエンジンの小爆発で月面着陸の予定は急遽変更され、到着寸前にUターンし、地球に帰還したためトーストミストレスの印章は月面着陸できなかった。 |
| 1973  昭和48年 | 第32回ITC大会が米国ニューメキシコ州アルバカーキで開催された。  男性会員募集が奨励された。 |
| 1976  昭和51年  1977  昭和52年 | 第35回ITC大会が米国カリフォルニア州ロサンゼルスで開催された。  “Region Supervisor”と“Council Chairman”の名称が“President”に変更された。  第36回ITC大会が米国ワシントンD.C.で開催された。  日本語の資料作成のため、教育マニュアル翻訳に対し日本に1,600USDが補助された。  7月にクラブ役員マニュアル、12月に教育マニュアルが日本語に翻訳され出版された。  ITC本部の建物を得るため、「一つの煉瓦になりましょう、一つの煉瓦を買いましょう、夢を叶えましょう」の資金調達スローガンのもと建築基金キャンペーンが行われた。 |
| 1980  昭和55年 | 第39回ITC大会が米国ミズーリ州セントルイスで開催された。  資格認証プログラムが導入された。 |
| 1981  昭和56年 | 第40回ITC世界大会が米国ジョージア州アトランタで開催された。  会員の寄付と投資の配当金でITC本部の建物をローンで購入した。  10月31日ITC本部がカリフォルニア州サンフランシスコからアナハイムに移転し、  正式にITC本部が開設された。26ヵ国にITCが設立され会員数は25,484名となった。  オーストラリアのNorma W. Ewinが米国外で初のITC会長に就任した。 |
| 1982  昭和57年 | 第41回ITC大会がオーストラリアに於いて初めてシドニーで開催された。  E.Jean Turnerが1938年から1981年までのITCの歴史を編纂した  “This is Toastmistress”が出版された。  「ITC議事法マニュアル」が出版された。  日本リージョンがITCの27番目のリージョンとして設立され、  1982年6月4日、日本リージョン設立大会が京都パークホテルで  「友情の架け橋」のテーマで開催された。  Norma W. Ewin ITC会長から日本リージョン設立を祝して  日本リージョンにスピーチコンテスト日本語優勝のプレート  が寄贈された。　　　　　　　　　　「日本リージョン設立大会冊子」 |
| 1983  昭和58年 | 第42回ITC大会が米国ボストンで開催された。ITCミッション声明が採択された。  アイスランド、オランダに対してITC教育資料を翻訳することが許可された。  スペイン、ドイツ、アフリカでITC教育資料が各国の言語で独自翻訳された。 |
| 1984  昭和59年 | 第43回ITC大会が米国テキサス州ダラスで開催された。  英語圏外で初めて新木昌子(名古屋)がITC副会長Div.Ⅵ(1984.08.01－’85.07.31)に選出された。  “International Toastmistress Clubs”の名称が変更され“International Training in Communication”とすることが採択された。1985年8月1日から有効となった。 |
| 1985  昭和60年 | 第44回ITC大会が米国デトロイトで開催され、ITCマークのデザインが改正された。    International Toastmistress Clubs　 　International Training in Communication    アイスランドリージョンが設立された。  教育マニュアル改訂版が発行された。　　“EDUCATIONAL MANUAL” |
| 1988  昭和63年 | 第47回ITC大会が米国フロリダ州オーランドで開催された。  ITC創立50周年記念行事のため立ち上げていた“A Golden Anniversary Committee” の活動の一環として、全世界のITCで一斉にヘリュームを詰めたITCカラーのブルーとゴールドの風船を打ち上げ祝った。 |
| 1989  昭和64年 | 第48回ITC大会が米国ネバダ州ラスベガスで開催された。  “Madam Toastmistress” は“Madam Program Leader” “Compere”となり  “Madam Topic Mistress” は“Madam Topic Leader”に変更された。  トーストミストレスマガジンが“TOASTMISTRESS”から“ITC COMMUNICATOR” に改名された。  中国初のクラブが天安門事件1週間前に設立された。 |
| 1990  平成2年 | 第49回ITC大会がニュージーランドのオークランドで開催された。  バルク良子(神戸）がITC副会長Div.Ⅵ (1990.08.01－’91.07.31）に  選出された。  “MASTER MANUAL”が出版された。  “ MASTER MANUAL” |
| 1991  平成3年 | 第50回ITC大会が米国ワシントンD.C.で「50周年記念大会」として“A Capitol Experience”のテーマで開催された。グレイトレイクスリージョン会員のAnn Jacobsが50周年記念大会を祝い、30,000.00USDをITCに寄贈した。  PREM(広報、増設、会員)委員会が設置された。  ITCミッション声明文が変更された。ライティングコンテストが開始された。 |
| 1992  平成4年 | 第51回ITC世界大会が米国テキサス州サンアントニオで開催された。  世界初の“Region of the Year”の最優秀リージョン賞と賞金＄500が日本リージョン  に授与された。  グリーソン議事法ダイジェストが“ITC GLEASON’S”として  発行された。  ITC本部ビル購入の募金として  “Light the Flame ”ピンが販売された。  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　“Light the Flame” ピン “ITC GLEASON’S ” |
| 1993  平成5年 | 第52回ITC世界大会がカナダのエドモンドで開催された。  「資格認証マニュアル改訂版」が発行され、資格認証の筆記試験が廃止された。  ドイツとチェコにクラブが設立された。  世界で25クラブが増設され、1993年6月30日ITC会員は15,043名となった。 |
| 1994  平成6年 | 第53回ITC世界大会が米国ペンシルバニア州ピッツバーグで開催された。  ITC機構が6ディビジョンから4ディビジョンとなり、境界線が変更された。 |
| 1995  平成7年 | 第54回ITC世界大会が米国サンフランシスコで開催された。  基金委員会から教育(Education)の“E”と基金(Endowment)の  “E”を促進するため“E”ピンが販売された。  コンピュータが購入された。　　　　　　　　　　　　　　“E”ピン |
| 1996  平成8年 | 第55回ITC世界大会がスコットランドのグラスゴーで開催された。  ITC本部ビル購入のローンを完済した。祝賀会が開催され日本からも祝賀会に出席した。 |
| 1997  平成9年 | 第56回ITC世界大会が米国リノで開催された。  コンピュータネットワークが組織化され、ITC役員会はe-mailを使用。ITCホームページを開設し会則、スピーチコンテストとライティングコンテストの規則を掲載した。  RMT(Region Management Training)が会員個人の能力を開発するための特別なプログラムPEP（Performance Enhancement Program)に変更された。  ITCミッション声明文が変更された。  米国のゴールデンウェストリージョンとサウスアフリカのファンダースリージョンが最多クラブを増設し、特別賞金300USDが其々のリージョンに授与された。  多数の新会員を獲得したリージョンに100USDが授与された。  “Take Five to Gain Five”が導入され、5人の会員獲得のため5分を使いましょうが奨励された。新会員5人を入会させた会員は1年間の年会費が無料となった。  ITC発足後の約60年間に設立されたクラブのチャーター番号が3653に達した。 |
| 1998  平成10年 | 第57回ITC世界大会が米国ミネソタ州ミネアポリスで開催された。  設立60年の栄誉を称え“Diamond Anniversary Year of ITC ” と称し、1941年ITCに入会したミネアポリスクラブのRose Dheinに最長継続会員として  “ITC’s Diamond Member”の栄誉が授けられた。  スペースシャトル・ディスカバリー号搭乗の向井千秋宇宙飛行士にITC賞を授与した。向井宇宙飛行士は賞状をアメリカ航空宇宙局（NASA）に持参した。  1998年1月、日本リージョン事務局にコンピューターが設置された。 |
| 1999  平成11年 | 第58回ITC大会が7月17日－21日神戸ポートピアホテルで「寿」のテーマで開催された。特別ゲストとして高円宮久子妃殿下のご臨席を賜りスピーチを頂戴した。  ITC大会に出席しないクラブが他クラブ会員に派遣員を依頼する  “Hands Around the World Chain” (HAWC)「世界をつなぐ輪」  が世界大会での不在者投票を防ぐため導入された。  Div.ⅠとDiv.Ⅱの境界線が変更された。  PREMの方針とマニュアルが作成された。  儀典マニュアルが出版された。　　　　　　　　　「第58回ITC大会ピンと大会冊子」  プレムから“One for One and One for All ”の企画が実施され、２つのピンを合わせるとハート型になる“ハートピン”が新入会員と紹介した会員に贈られた。  1977年7月から1999年3月まで22年間ITC に貢献した  Muriel Bryant事務局長が引退した。ITC本部ビル購入のため  指導力を発揮した業績を称え、ITC本部ビルを  Muriel Bryant本部ビルと公式に命名した。　　　　　　　　　　　　“ハートピン”  1974年から25年間勤務し、ITC編集者を務めたJoAnn Levyが、  “ITC COMMUNICATOR”Volume14/No.6の編集を最後の任務として退職した。  1999年8月マガジンリエゾン委員会のMorley M.Hoferが編集者となった。 |
| 2000  平成12年 | 第59回ITC大会がカナダのトロントで開催された。  ITCビジョン声明が採択された。  高円宮久子妃殿下から2000年6月ITC名誉会員の受諾を賜った。  ITC本部のコンピューター導入後5年の歳月を費やし  ITCWebsiteが整備され全ての資料がコンピュータで入手可能になった。  Master E-mail listが作成されITC役員とリージョン会長に  配布された。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2000年大会開催“記念ピン” |
| 2001  平成13年 | 第60回ITC大会がカリフォルニア州アナハイムで開催された。  “ITC COMMUNICATOR”の発行回数を年6回から年4回とすることが採択された。  “ITC COMMUNICATOR” の会報がB5サイズからA4サイズの冊子となった。  “All Club Mailing” が電子機器による配信となった。 |
| 2002  平成14年 | 第61回ITC大会がバハマで開催された。  毎年開催されていたITC大会が、隔年開催とすることが決議され、2003年8月1日  から有効となった。 |
| 2003  平成15年 | 第62回ITC大会が南アフリカのダーバンで開催された。  泉 和子(阪神)がITC副会長Div.Ⅳ（2003.08.01－’05.07.31）に選出された。  “POWER*talk* ITC” が発行された。  オールクラブメーリングが“From the Boardroom”（FtB）となった。  “International Management Service” (IMS）ITC管理サービスがニュージーランドのタウランガで実施することが発表された。  カリフォルニア州アナハイムのITC本部ビルを売却した。ITCの歴史的資料は保存用ファイルに収められカリフォルニア州アナハイム文化遺産センター図書館に保管された。 |
| 2003  平成15年  |  2005  平成17年 | 初めての隔年開催の第63回世界大会が米国メリーランド州ボルティモアで開催された。  必須任命役員の“Communication Liaison Officer” (CLO)が全レベルに設置された。  サイバー役員会が開始された。“Fellow of ITC ” の資格制度が発足した。  コスモポリタンスピーチコンテストが開始された。  マスターマニュアルにセクションⅤが追加され出版された。  ITC会則が十進法表記となった。　　　　　　　“MASTER MANUAL” |
| 2005  平成17年  ｜  2007 | 第64回世界大会がオーストラリアのブリスベンで開催された。  泉 和子(阪神)がITC副会長Div.Ⅳ（2007.08.01－’09.07.31）に再選された。  ITCブランド名として“POWER*talk* International”を付加することが発表された。  “POWER*talk* International Short Course” が出版された。  ITC選出役員から会計が削除され書記が挿入された。 |
| 2007  平成19年  ｜  2009  平成21年 | 第65回世界大会がアラスカクルーズの豪華客船Serenade of the Seasで開催された。  “POWER*talk* International” が正式にブランド名として採択された。  “POWER*talk* International” のピンがデザインされ販売された。  “POWER*talk* International Short Course Trainer” の資格制度が  発足した。　　　　　　　　　　“POWER*talk* International ”ロゴ |
| 2009  平成21年  ｜  2011  平成23年 | 第66回ITC大会が米国インディアナ州インディアナポリスで開催された。  Div.ⅠからDiv.Ⅳの分割線の設定が変更された。  “POWER*talk* International Training Weekend 2010” が  2010年10月22日－24日神戸ポートピアホテルで開催された。  スリランカのAyubowan Club、日本の眉山クラブを含む8クラブが  設立された。  “POWER*talk* International Training Weekend 2010” 大会冊子 |
| 2011  平成23年  |  2013  平成25年 | 第67回ITC大会がハワイのホノルルで開催された。  小菅あけみ(サンデー)がITC副会長Div.Ⅳ（2013.08.01－’15.07.31）に選出された。  “International Management Service”（IMS）ITC管理サービスがニュージーランドのタウランガから米国ネバダ州ボルダ―で実施されることが決議され、通貨はNZDからUSDになった。年会費は93NZDが90USD、大会協力金は18NZDが20USDとなり2014年8月1日から有効となることが採択された。  国際レベルの常任委員会から寄付・遺贈委員会と儀典委員会が削除された。  ITC Websiteが刷新され、“ITC COMMUNICATOR” が公式電子冊子となり  “POWER*talking* Magazine” としてITCWebsiteに掲載された。 |
| 2013  平成25年  |  2015  平成27年 | 第68回ITC大会がニュージーランドのロトルアで開催された。  小菅あけみ(サンデー)がITC副会長Div.Ⅳ（2015.08.01－’17.07.31）に再選された。  クラブの資格認証委員会が必須ではなくなった。  「国際役員会から」（FtB）を含む通信は、電子的手段によって提供されることになった。  スピーチコンテストの規則が変更され、「全てのレベルで電子機材  によるメモを使用することが出来る」が付加された。  ITCは現在４Div.があり、12リージョンが所属している。  E.Jean Turnerが1981年－2015年の歴史を編纂した  “FROM TOASTMISTRESS TO ITC”が出版された。　“FROM　 TOASTMISTRESS　 TO　 ITC” |
| 2015  平成27年  ｜  2016  平成28年 | エリザベス女王陛下がニュージーランドのHilary Brown（タウポクラブ）に  地域社会とパブリックスピーキングへの貢献に対して  QSM（The Queen's Service Medal女王勲功章）を授与した。  2016年1月Hilary Brown はニュージーランド新年勲章授与式で  QSMを受賞した。　　　　　　　　　　　　“The Queen's Service Medal”（女王勲功章） |
| 2017  平成29年 | 第69回ITC大会が米国ワシントン州のシアトルで開催され、「ITC解散」の決議案が  可決された。1838年に創設されたITCの80年の歴史の幕が閉じられた。 |

2016年4月 日本リージョン第34期　教育・資料研究委員会監修・発行

作 成：坂口正子（カウンスルNo.5 大阪クラブ）

参考資料：FROM 　TOASTMISTRESS　 TO　 ITC　　 ITC MASTER MANUAL

ITC COMMUNICATOR　　日本リージョン会報　　日本リージョン30周年沿革史